

令和8年度奈良のシカ保護計画検討業務委託（奈良の鹿保護育成事業）

にかかる審査基準

| 審査項目   |                | 審査基準                                                                                                                                                 | 5段階 | 係数 | 配点  |
|--------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----|-----|
| 業務遂行能力 | 業務理解度          | 本業務の目的・趣旨を理解した上で、具体的かつ適切な実施方針が示されているか。                                                                                                               | 5   | 1  | 5   |
|        | 業務実績           | 同種業務を複数受託し、十分なノウハウ・実績があるか。                                                                                                                           | 5   | 2  | 10  |
|        | 実施手順           | 業務実施のための具体的かつ実現性のあるスケジュールが示されているか。                                                                                                                   | 5   | 1  | 5   |
|        | 実施体制           | 環境省「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」の鳥獣保護管理プランナー登録者又は技術士（環境部門：自然環境保全）の資格を有する技術者が配置されているか。                                                                            | 5   | 2  | 10  |
| 企画提案内容 | 保護計画（第2次）案の作成  | 天然記念物「奈良のシカ」保護計画及び奈良のシカ保護管理計画検討委員会における検討内容、各種調査結果等を踏まえ、これまでの取組や、シカとの適切な接し方、生息環境の改善等に関する課題の整理・分析を計画改定にどのように活用するかについて、今後の計画作成に向けた具体的な考え方及び方向性が示されているか。 | 5   | 2  | 10  |
|        |                | 天然記念物としての文化財的価値、生態学的観点、生活被害及び農林業被害対策を踏まえ、今後想定される課題に対応した施策の方向性及び主要な対策について、中長期的な視点を持った具体的な提案となっているか。                                                   | 5   | 3  | 15  |
|        |                | 奈良公園植栽計画、春日山原始林保全計画等の関連施策との整合性を図り、将来的な課題を見据えた計画策定の考え方が示されているか。                                                                                       | 5   | 1  | 5   |
|        | 鹿せんべい以外の給餌実態調査 | 過年度に実施した鹿せんべい以外の給餌実態把握調査や検討委員会等における検討内容を踏まえ、把握すべき課題や情報を整理し、効果的な実態把握につながる調査手法が示されているか。                                                                | 5   | 1  | 5   |
|        |                | 夜間における鹿せんべい以外の給餌実態を把握するため、調査時期、時間帯、場所、調査項目及び調査体制等について、実現可能な調査手法が示されているか。                                                                             | 5   | 2  | 10  |
|        | 個体群動態モデルの検討    | 個体群動態モデルの構造（生態過程、推定すべきパラメータ、観測過程等）について、モデル構築に向けた考え方が示されているか。                                                                                         | 5   | 1  | 5   |
|        |                | 個体群動態パラメータの推定に必要なとなる統計的手法、活用するデータ及びモニタリング手法、今後のモニタリング計画について、実現に向けた具体的な提案となっているか。                                                                     | 5   | 2  | 10  |
| 経費     | 経費見積           | 経費の内訳、範囲が明確で、提案内容に見合った合理的な金額となっているか。                                                                                                                 | 5   | 2  | 10  |
| 合計     |                |                                                                                                                                                      |     |    | 100 |

○提案者が2人以上ある場合は、各審査員による合計点が、満点の6割以上の者のうち最も高い点を獲得した者を契約候補者として選定する。

○提案者が1者の場合は、各審査員による合計点が、満点の6割以上で、かつ審査員の合議により認められた者を契約候補者として選定します。

○経費見積の採点基準は以下のとおりとする。

- ・ 5,260,640円～5,368,000円・・・1点（98%＜見積額≦100%）
- ・ 5,153,280円～5,260,640円・・・2点（96%＜見積額≦98%）
- ・ 5,045,920円～5,153,280円・・・3点（94%＜見積額≦96%）
- ・ 4,938,560円～5,045,920円・・・4点（92%＜見積額≦94%）
- ・ ～4,938,560円・・・5点（見積額≦92%）

○同種業務の実績件数に応じて採点し、0件の場合は1点、1件につき1点を加算し、4件以上の場合は上限の5点とする。

（同種業務：生息環境の保全・改善等のシカの保護に関する調査業務または検討業務）

○実施体制の採点基準は以下のとおりとする。

- ・ 環境省「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」の鳥獣保護管理プランナー登録者及び技術士（環境部門：自然環境保全）の両資格を有する技術者を配置・・・5点
- ・ 上記資格のいずれか一方を有する技術者を配置・・・3点
- ・ 上記資格を有する技術者を配置しない・・・1点